## 血管撮影システム「Trinias」補足資料

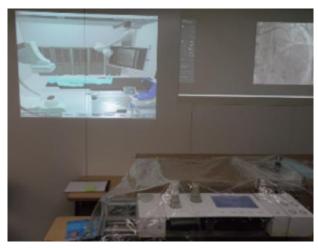
実施時期	実施事項	詳細
2018/4	VOC 分析	営業部門等が顧客訪問時に収集した VOC1,812 件をテキストマイニングで分
		析し、ユーザーが着目している要素を明確にした。
		型されている。 センター復帰 天板 移動
		テキストマイニング結果抜粋
2018/5	ペルソナ/ワー	上記、テキストマイニング結果を参考に、社内有識者へのヒアリング等を実
	クフローの仮説	施し、「中小病院」、「大病院」の2種類の医療施設像それぞれに、「術者」「放
	を立てる	射線技師」「臨床工学技師」「手術室看護師」「病棟看護師」「患者」のペルソ
		ナと、カテーテル治療/検査のワークフローの仮説を立てた。ペルソナには、
		役割/ワークフロー上での業務内容/目標を記述した。
2018/6	ユーザー訪問	ペルソナに近い「中小病院」、「大病院」を訪問。計8名の患者のカテーテル
		治療/検査の観察調査を実施。ユーザーの動線を記録した。
2018/6	豊橋ライブ参加	豊橋ライブは、カテーテル治療を会場にライブ中継し、会場にいるベテラン
		の医師が治療を解説することで、会場参加者の若手医師にベテラン医師の経
		験を共有するイベントである。医師の発言を聞くことで、手技中における医
		師のマインドを理解することができ、ペルソナの体験を考える際のインプッ
		トを抽出することができた。
2018/7	ペルソナ/ワー	ユーザー訪問、豊橋ライブ参加により得られた情報をも基に、仮で作成して
	クフローの確定	いたペルソナ/ワークフローの修正や加筆を行い、要求分析に使用するペル
		ソナ/ワークフローを確定させた。

			敬種	患者	医師	放射線技師	臨床工学技士	手術室看護師	病棟看護師				
			年齢	73	52	37	35	49	28				
			11:30	女性	男性	男性	男性	女性	女性 160				
			身長	151 先生とは長いお	175 小さな病院なの	181 医師とは長い付	172 術者の助手とし	161	160 最も大切なのは。				
			考え方	光生とは良いお 付き合いなので、 今回も安心して 任せられますよ。	かさな柄になり でスタッフが少 ないのは仕方が ない。それでも 成功させるのが プロである。	が少 き合い。細かい て清潔野に入る 方が 指示が無くても こともある。 でも 満足してもらえ のが る張像ができる		すが、重要な役割なのでずっと 続けています。 若い人が増えて ほしいですね。	取も大切なのは、 患者さんと向き 合う中で、ちょ っとした異変に 気付くことです。				
			目標	治療を受ける。	治療を成功させ ることが第一。	医師が満足する 写真を撮る。医 師がやりやすい ようにフレーミ ングする。	治療が円滑に進 められるよう装 置の操作などを サポートする。 術者のサポート も行う。	治療が円滑に進 められるよう薬 剤や器械出しな どをサポートす る。	患者に安心感を 与える。				
			役割		カテーテルの操作、バルーン、 ステントの拡張 (インデフレー ター)、電気物投 等側動、薬野吸な どの患者管理	アンギオ装置、 インジェクター 装置の操作	ポリグラフの操作、IVUSのセットアップ操作・計測、IABP、PCPSなどの補助循環装置の操作。 リントアップとリーリーの関係では、IVUSの操作を関する。	患者の観察,記 経・豪烈・器 後 出し、外回り一 般	病権から治療室 への患者の移動 の介添、治療の 説明				
2010 /0	- 市北市頃の敷畑	=+   -	- / -	- > , <i>F</i> i -		ペルソナ		<i>+</i> ¬ ⊥	Ľ – →	220 /4 ±			
2018/8	要求事項の整理	テキストマ								320 1十で			
	と優先順位付け	構造化し、	中分	)類項目	79 件、ナ	7分類項目	目 24 件に	こまとめフ	た。				
		ユーザーニーズの構造化											
2018/8	要求事項の機能	整理したニ	1-+	ゲーニース	ズを、コ	ンソール	の機能、	操作部に	こ展開し、	ユーザー			
	への展開	ニーズを清	ま <i>ナ</i> − ▽	トコンソ-	- ル室を	作成した							
				- Signature of the state of the									

コンソール案

## 2018/9

プロトタイプの 作成と受容性評 価 発泡剤により作成したラフモデルから、VR 環境を使って実際に操作のシミュレーションができるワーキングプロトまで、都度、受容性評価を繰り返し、仕様の練り上げを行った。ワーキングプロトの受容性評価においては、循環器内科の医師 3 名のご協力により、209 件の指摘や気づきを得た。それらの対応を行ったうえで、製品試作機の開発へと進めた。



ワーキングプロト

2019/8

ユーザビリティ 評価 (ハードウェア) 製品試作機を用いて、ハードウェア(主にスイッチやレバーの操作性について)のユーザビリティ評価を実施した。

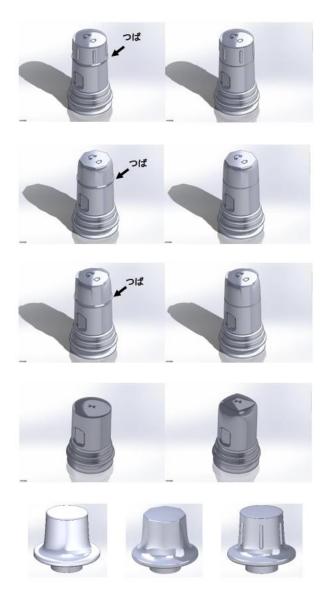


評価環境 (全体)





評価環境(手袋・覆布)



評価に使用したスイッチ・レバー例

実験協力者 10 名に、利用状況に即した、各スイッチ・レバーの操作を含むタスクを実行していただき、タスク終了後に満足度を聞くとともにその理由を確認した。また、操作の様子をユーザビリティ専門家が観察し、ユーザビリティ上の問題を抽出した。これらから改善点を明確にし、製品版に向けて改良設計を実施した。

																				不清	#←	1 L	2 I	3 I	4 	5  -	→湍	記	
				P1		P	2		P3		E	P4		P5		E	96		P7			P8			P9	_		10	
		属性		40M		30			30M			0M		20M			OM		20F			30M			10M			DM	
		身長		169		18			175			67		179			75		156			182			173			78	
		つば			_			_		_			-	_	0	_		-	_							-			
		形状	丸	多角	突   起	丸	夕   突	丸	多角	突   起	丸	多月走	刺丸	多角	突   .	丸	多角起	九	多角	突起	丸	多角	突起	丸	多角	突起	丸	多角声	2
		触った順番													3														
		1.スイッチの 押しやすさ	3	3	3	2 2	2 3	3	3	3	2	2 2	1	1	1	1	1 1	2	3	2	2	2	2	4	4	4	3	3 3	3
		2.上下左右の	2	3	2	2 3		2	2	2	2 :	2 2	3	2	2	2	2 2	4	4	4	4	5	4		4		4	2 2	,
		傾けやすさ	3	3	3	2	3 4	2	2	2	2 .	2 2	3	3	3	2	2 2	4	4	4	4	0	4	4	4	4	4	2 3	
		3.つまみ部の 回しやすさ	3	4	4	2	3 4	2	3	3	4	3 2	1	2	3	2	2 2	3	3	4	4	5	4	4	2	4	4	2 3	3
		4.つまみ部と 本体の境目の 分かりやすさ	3	3	3	4	1 4	3	3	3	4	4 4	5	5	5	3	3 3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	4	4 4	1
		5.移動レバー との区別のつ	3	3	3	4 4	1 4	3	3	3	4	4 4	5	5	5	4	4 4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	4	4 4	1
		けやすさ 6.レバーの大 きさ	2	2	2	2	3 4	3	3	3	5 !	5 5	2	2	2	2	2 2	4	4	4	4	4	4	5	5	5	3	3 3	3
					•					=	平信	西糸	吉果	1 (	抜	粋	)			•	-						-	-	_
2019/10	ユーザビリティ	製品試作機を用いて、ソフトウェア(タッチパネルの操作性について)のユ																											
	評価(ソフトウ																												
	ェア)	3					-		3	-	1		-		1		10	1		3000	_			-					
											平信	西珍	<b>製</b> 境	Ē (	(全	体	)												
									評	一個	i環	遺境	(:	<b>—</b>	代交	和	夏布												

	タスク 想定時間		P1	P2	P3	P4	P5	まとめ
1	Cアームの	5:36	01:36	01:17	01:52	01:09	01:33	想定時間内 5/5
	移動・回転		×	0	0	0	Δ	達成 <b>4</b> /5
2	角度登録	2:51	00:57	01:49	01:46	00:47	01:15	想定時間内 5/5
			0	0	×	0	0	達成 <b>4</b> /5
3	3D 操作	3:33	02:34	00:43	01:19	00:47	01:18	想定時間内 5/5
			Δ	0	0	0	0	達成 5/5
4	シーケンス	4:09	02:40	01:08	01:56	01:14	02:54	想定時間内 5/5
	モード		Δ	Δ	0	0	0	達成 5/5
5	ダイレクト	2:45	01:44	01:47	02:06	01:23	03:16	想定時間内 4/5
	メモリ設定		0	0	Δ	0	0	達成 5/5

 $\bigcirc$ : タスク達成、 $\triangle$ : タスク達成したが懸念点あり、 $\times$ : タスク未達成

## 評価結果(抜粋)

実験協力者 5 名により、ソフトウェアの有効性と効率の測定を行った。タスクが達成できるかどうかと、タスク達成までにかかった時間を測定し、タスクが達成できなかった原因、想定時間より遅くなった原因を明確にした。これらから改善点を明確にし、製品版に向けて改良設計を実施した。

以上